

# 環境大学2024 講義一覧

☆ カリキュラムのうち、8割以上の講座を受講していただきます。

年月日	時間	講義内容	講師(敬称略)	実施場所
令和6年 6月15日 (土)	9:40~9:55	入学式ガイダンス		しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	10:00~10:30	入学式		
	10:40~12:00	受講ガイダンス	静岡市ごみ減量推進課 環境大学2023修了生	
	13:00~15:40	アイスブレイク講習・リスクマネジメント講習	静岡市南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家	
7月6日 (土)	9:15~10:30	環境保全の法制度	常葉大学 社会環境学部 准教授 小杉山晃一	城東保健福祉 エリア (葵区城東町)
	10:45~12:00	脱炭素に向けた地域社会の役割	静岡県環境資源協会 会長 平井一之	
	12:15~12:45	静岡市の環境政策	静岡市GX推進課	
8月3日 (土)	9:15~10:30	SDGsを推進するSTEAM教育に関する理論と実践 -静岡市モデルとは-	宮城教育大学 教育学部 特定研究補佐員 熊野善介	しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	10:45~12:00	STEM教育改革と環境教育の理論と実践	静岡大学 教育学領域 准教授 郡司賀透	
	13:00~15:00	『つくる責任 つかう責任』について考える	花王グループカスタマーマーケティング 株式会社 ビジネス開発部 部長 棚橋信夫	
8月31日 (土)	9:15~10:45	ごみ処理ガイドツアー(清掃工場見学)	静岡市廃棄物処理課 沼上清掃工場長	沼上清掃工場 (葵区南沼上)
	11:00~12:30	プラスチック製容器包装廃棄物とリサイクル	環境カウンセラー 瀬本豊久	しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	13:30~14:45	未利用資源を活用した循環型生活の実践	静岡市環境公社 重岡廣男	
9月7日 (土)	10:00~12:00	静清浄化センター施設見学	株式会社ウォーターエージェンシー 静岡市下水道施設課	静清浄化センター (清水区清開)
	13:30~16:00	水圏環境と小さな生物たちの重要性(講義・体験)	東海大学 海洋学部 教授 秋山信彦 准教授 石井洋 准教授 松浦弘行	東海大学 (清水区折戸)
9月28日 (土)	10:00~11:30	食品ロス削減!はじめよう、エコ・クッキング (前半グループ)	静岡ガスエネリアショールーム静岡 エコクッキング・ナビゲーター エコクッキング・インストラクター	静岡ガスエネリア ショールーム静岡 (駿河区八幡)
	13:00~14:30	食品ロス削減!はじめよう、エコ・クッキング (後半グループ)		
10月5日 (土)	10:00~12:00	ファンリテーションを活用した環境教育の企画・立案	会議ファシリテーター普及協会 副代表理事 小野田郷子	しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	13:00~14:40	「食品ロスへの対策」静岡でのフードバンク10年	フードバンクふじのくに 理事・事務局長 望月健次	
10月26日 (土)	9:15~9:45	西ヶ谷清掃工場に集められた家庭ごみの処理方法と 新たな活用の実施例	日鉄エンジニアリング(株) 関勇治	静岡大学 (駿河区大谷)
	10:00~12:30	都市ゴミ熔融スラグの肥料化と今後の展開	静岡大学 農学領域応用生命科学科 准教授 一家崇志	
11月9日 (土)	13:00~15:00	都市水循環系におけるマイクロプラスチックの挙動と ナノプラスチックへの挑戦	京都大学 地球環境学堂 准教授 田中周平	しずもーる沼上 (葵区南沼上)
11月30日 (土)	9:15~11:15	南アルプスの成り立ちと自然環境	静岡大学 防災総合センター 客員教授 増澤武弘	みほしるべ (清水区三保)
	11:15~11:30	松葉かき	静岡市三保松原文化創造センター職員	
	12:30~14:30	静岡県の成り立ちと自然環境	早稲田大学 人間科学学術院 教授 山田和芳	
令和7年 1月18日 (土)	9:15~10:30	川の環境と生物多様性	東海大学海洋学部 教授 秋山信彦	しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	10:45~11:45	給水スポットを利用して循環型社会の実現	環大アカデミー カチカチ鳥 大石善博	
	11:45~12:00	環大アカデミーの紹介・アンケートのお願い		
	13:00~14:30	卒業発表リハーサル		
2月15日 (土)	9:20~9:50	卒業式リハーサル		しずもーる沼上 (葵区南沼上)
	10:00~10:30	卒業式		
	10:45~12:00	卒業発表		

# 講義内容

①6月15日(土)9:40~15:40 ●入学式・ガイダンス・講義

## 入学式・受講ガイダンス

入学式後、ガイダンスにて受講のポイントや注意点等を確認し、7月から本格スタートする環境大学に備えます。

## アイスブレイク講習

### 野外活動における活動指導者の心構えとリスクマネジメント

静岡市南アルプスユネスコエコパーク 井川自然の家

1つ目は、良好なコミュニケーションを作る「アイスブレイク」体験を通じて、「アイスブレイク」の効果や目的について学びます。2つ目は、屋外活動に存在する様々なリスクを理解して「屋外活動での心構え」や「リスクマネジメントの考え方」などについて学びます。

②7月6日(土)9:15~12:45

●講義

城東保健福祉エリア

## 環境保全の法制度

常葉大学社会環境学部 准教授 小杉山 晃一

まずは環境保全に関するルールを学びましょう。環境保全の中でも、特に生物多様性の保全に関する法律、国際条約を簡潔に紹介します。



## 脱炭素に向けた地域社会の役割

(一社)静岡県環境資源協会 会長 平井 一之

地球温暖化の現状と課題を解説します。併せて、脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた対応策を学びます。特に、脱炭素型社会の構築のために市民・事業者がそれぞれの立場で果たすべき役割について、事例を上げて紹介します。



## 静岡市の環境政策

静岡市役所 GX推進課

環境問題を取り巻く情勢は絶えず変化しています。例えば近年では、カーボンニュートラルを目指す動きが国内外で広がっています。このような新たな課題に対し、世界共通の目標である「持続可能な社会の実現」に向けて、静岡市ではどのような環境施策を展開しているか、ご紹介します。

③8月3日(土)9:15~15:00 ●講義

## SDGsを推進するSTEAM教育に関する理論と実践 —静岡市モデルとは

宮城教育大学 教育学部 特定研究補佐員 熊野 善介

SDGsを推進するハブ都市である静岡市のために私たちができることとして、STEAM教育を理解し、導入することで、創造性を高めたり、SDGs分野のイノベーションにつなげる方略を獲得します。



## STEM教育改革と環境教育の理論と実践

静岡大学 教育学領域 准教授 郡司 賀透

環境教育におけるポストモデルとして、STEM（ステム:科学、技術、工学及び数学）教育が注目され始めています。静岡市におけるSTEM教育の実践例を踏まえながら環境教育において留意すべき点を学びます。



④8月31日(土)9:15~14:45 ●講義 沼上清掃工場

## ごみ処理ガイドツアー（清掃工場見学）

静岡市役所 廃棄物処理課

## プラスチック製容器包装廃棄物とリサイクル

環境カウンセラー 瀬本 豊久

容器リサイクル法におけるプラスチック製容器包装廃棄物の発生とリサイクルの実態について解説します。



## 未利用資源を活用した循環型生活の実践

(一財)静岡市環境公社 環境啓発顧問 重岡 廣男

食品ロスにつながる「生ごみ」と、住環境に拡大する「放置竹林」の背景にある環境問題を解説し、生ごみと放置竹林を生活に生かす方法を紹介します。



⑤9月7日(土)10:00~16:00 ●講義 東海大学

## 静清浄化センター施設見学（下水道施設見学）

株式会社ウォーターエージェンシー、静岡市役所 下水道施設課

下水処理施設の現場見学を行います。

## 水圏環境と小さな生物たちの重要性

東海大学海洋学部 教授 秋山 信彦・准教授 松浦 弘行(写真)・准教授 石井 洋  
普段目にすることがあまりありませんが、我々の生活には小さな生物たちが様々なところで関与しています。水の浄化にかかわる微生物や、食物連鎖の基礎となるプランクトンなどを顕微鏡を用いて観察しながら、その種類や環境との繋がりを解説します。



⑥9月28日(土) 10:00~14:30 ●講義

静岡ガス エネリア  
ショールーム静岡

## 食品ロス削減！はじめようエコ・クッキング

静岡ガス エネリアショールーム静岡 エコ・クッキングナビゲーター  
エコ・クッキングインストラクター

「エコ・クッキング」とは買い物・料理・片付けの際に環境に配慮した行動をすることです。日々の生活で実践できるよう食品ロスを削減しましょう。セミナーと簡単な調理自習で学びます。本講義では、お一人ずつの調理で「薄焼きピザ」を作ります。

⑦10月5日(土) 10:00~14:40 ●講義

## ファシリテーションを活用した環境教育の企画・立案

一般社団法人 会議ファシリテーター普及協会 副代表理事 小野寺 郷子  
ファシリテーション技法の基本を実践的に学び、チームで活動するための話し合いに活かします。

## 「食品ロスへの対策」静岡でのフードバンク10年

特定非営利活動法人フードバンクふじのくに 理事・事務局長 望月 健次  
日本で年間523万トンといわれる食品ロスはなぜ起こるのか。その食品ロスを削減する一つの方法であるフードバンク活動が静岡県で始まって10年になります。実際に使用する食品に触れながら理解を深め、自分たちに何ができるか考えていただきたいと思います。



⑧ 10月26日(土) 9:15~12:30 ●講義 静岡大学

## 西ヶ谷清掃工場に集められた家庭ごみの処理方法と新たな活用の実施例

日鉄エンジニアリング株式会社 関 勇治

西ヶ谷清掃工場に集められた家庭ごみはシャフト式熔融炉で1700℃以上の高温で熔融処理されます。熔融処理した際に発生する副産物(エヌエスエコサンド)を使用した新たな活用方法をお知らせしたいと思います。

## 都市ゴミ熔融スラグの肥料化と今後の展開

静岡大学農学領域応用生命科学科 准教授 一家 崇志

熔融スラグは、ごみや焼却灰等を千数百度の高温で熔融したものを冷却し、固化させたものです。今回は、熔融スラグの肥料化と高付加価値が期待できる農業分野への応用展開について紹介します。



⑨ 11月9日(土) 13:00~15:00 ●講義

## 都市水循環系におけるマイクロプラスチックの挙動とナノプラスチックへの挑戦

京都大学地球環境学堂 准教授 田中 周平

環境中に放出されたプラスチックはどうなるのか?をテーマに掲げ、9年前からマイクロプラスチックに関する研究を進めています。微細化したプラスチック片は、どれくらいの量、どんな大きさで、どこに分布しているのでしょうか?目に見えない大きさに微細化したプラスチック片が環境中に残存している様子を紹介します。



⑩ 11月30日(土) 9:15~14:30 ●講義 みほしるべ

## 南アルプスの成り立ちと自然環境

静岡大学 客員教授 増澤 武弘

南アルプスの地形、地質、動植物等を幅広く学んだのち、南アルプスの魅力を紹介します。さらに南アルプスの自然に対して、市民ができる保全策を考えます。



## 静岡県の成り立ちと自然環境

早稲田大学人間科学学術院 教授 山田 和芳

豊かな自然があり、なかなかの都会と言われる静岡。その理由を探っていくと比類なき大地の成り立ちにたどり着きます。つい誰かに言いたくなる静岡県のすばらしさ・すごさ・美しさを地球科学の視点で学びます。三保松原を歩きながらの野外学習もやりますよ。

⑪1月18日(土)9:15~12:30 ●講義

## 川の環境と生物多様性

東海大学海洋学部 教授 秋山 信彦

川は上流から下流にかけて水温や塩分が変化するだけでなく、蛇行することで多様な環境ができています。このような多様な環境があることで、多様な生物が生活できます。本講義では、これらの関係性について解説していきます。

## 給水スポットを利用して循環型社会の実現

環大アカデミー カチカチ鳥 大石 善博

「カチカチ鳥」は河川・海岸清掃を定期的に行っている『コトの価値・モノの価値を見直すキッカケに』そんな想いを込めた団体です。

そしてRefill静岡では「給水スポット」を増やす活動をしています。

ペットボトルを使わず、プラごみを減らし、CO2削減できるようマイボトル・マイ容器の利用を促していきます。



## 卒業発表リハーサル

環境大学で学んできたことを生かして成果発表を行います。

⑫2月15日(土)9:20~12:00 ●卒業式・卒業発表

## 卒業式・卒業発表

卒業式後、1年間の学びの集大成として卒業発表を行います。